

2023

発行日 毎月1日 通算発行 443号

3



# 協会報



## 今月のトピックス

北陸地方整備局との意見交換会(後期)の開催

## 最近の完成工事から

のと里山海道 柳田IC～上棚矢駄IC間

4車線化事業 「羽咋市柳田町地内1.7km 完成」

石川県土木部道路建設課



《石川の工芸シリーズ⑤》

小松市立本陣記念美術館蔵

かんじょう まつまきえすずりばこ  
蔵上の松時絵硯箱

いがらし ずいほ  
五十嵐 随甫【嘉永5(1852)年—明治36(1903)年】

制作年/明治時代 サイズ/幅22.8×奥行25.2×総高4.5cm 技法/蒔絵  
五十嵐家は京都の名門蒔絵師の家系。初代道甫が前田利常の要請で加賀藩に下向し、現在の加賀蒔絵の基礎が確立された。随甫は幼少より父・祐甫に学んだ五十嵐派最後の蒔絵師である。箱の内側や背景には梨地の地文様が施され、外箱の波頭には螺鈿が輝き、松や岩は高蒔絵で立体的に表現されている。研ぎと磨きによる豊かな光沢と漆を盛り上げる高蒔絵の豪華な表現は、貴族文化の雅さと武家文化の豪華さが融合した趣をもつ逸品である。  
(文/小松市立本陣記念美術館学芸員 大橋由美子)

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人 石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

# CONTENTS

2023

3



《石川の工芸シリーズ⑦》  
がんじょう まつまさみすずりばこ  
巖上の松時絵硯箱  
五十嵐 随甫(いがらし ずいほ)

|    |                                                       |    |
|----|-------------------------------------------------------|----|
| 1  | 今月のトピックス                                              |    |
|    | 北陸地方整備局との意見交換会（後期）の開催                                 | 1  |
| 2  | 最近の完成工事から                                             |    |
|    | のと里山海道 柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業 「羽咋市柳田町地内1.7km完成」          |    |
|    | 石川県土木部道路建設課                                           | 2  |
| 3  | 令和4年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.5                         |    |
|    | 北都・宮下・勝二特定建設工事共同企業体                                   | 4  |
|    | 令和4年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.6                       |    |
|    | 株式会社丸西組                                               | 6  |
| 4  | 雇用改善コーナー                                              |    |
|    | 工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する協会長表彰の実施                      | 8  |
| 5  | 地区協会コーナー                                              |    |
|    | ～多様化する社会ニーズに合わせた宗教などにとらわれない新しい「納骨堂」、「合葬墓」を小松市が市街地に整備～ |    |
|    | (一社)小松能美建設業協会                                         | 9  |
| 6  | 今月の「輝き！」さん No.96                                      |    |
|    | 株式会社明翫組 平床悠里さん                                        | 10 |
| 7  | 協会だより                                                 |    |
|    | 常任理事会の開催                                              | 11 |
|    | 建設産業女性定着支援ネットワーク全国大会への参加                              | 11 |
|    | 委員会の開催                                                | 12 |
|    | 土木委員会                                                 |    |
|    | 役員会の開催                                                | 12 |
|    | 建築委員会                                                 |    |
|    | 技術・安全部会（第3回）の開催                                       | 12 |
|    | 情報・創造部会の開催                                            | 12 |
|    | 令和4年度石川県公共建築事務連絡協議会の開催                                | 13 |
|    | 土地改良委員会                                               |    |
|    | 県農林水産部との意見交換会の開催（技術検討部会）                              | 13 |
|    | 広報・研修委員会                                              |    |
|    | 企画部会の開催                                               | 13 |
|    | 建設青年委員会                                               |    |
|    | 県土木部との意見交換会の開催                                        | 14 |
|    | 女性部会 愛知県建設業協会との意見交換会                                  | 14 |
|    | 担い手確保・育成等特別委員会                                        |    |
|    | 令和4年度富士教育訓練センター派遣事業の実施について                            | 14 |
| 8  | 石川県土木施工管理技士会だより                                       |    |
|    | 正副会長会議の開催                                             | 15 |
|    | JCM セミナー（DVD 講習会）の開催                                  | 15 |
| 9  | 国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催                             |    |
|    | 令和4年度「私たちの主張」応募作品の紹介                                  |    |
|    | 「建設産業から広がる世界」 株式会社高田組 越野百々香                           | 16 |
|    | 「人と人が繋がる建設産業」 株式会社高田組 俵 来美                            | 17 |
| 10 | 業界時報                                                  |    |
|    | 労働災害発生状況                                              | 18 |
|    | 令和4年度 建設工事受注高調（元請）                                    | 18 |
| 11 | 会員の異動                                                 | 19 |
| 12 | 県協会からのお知らせ                                            | 19 |
| 13 | 地区協会からのお知らせ                                           | 20 |

## ◆ 今月のトピックス ◆

### 北陸地方整備局との意見交換会（後期）の開催

開催日時 令和5年2月24日（金） 13：30～15：00  
開催場所 ホテル日航金沢  
出席者 北陸地方整備局 内藤正彦局長、池田裕二企画部長、小野田吉純建政部長、  
野口 久営繕部長 他7名  
石川県建設業協会 平櫻 保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、  
山岸 勇専務理事 他役員16名、事務局3名

#### 概要

冒頭、内藤局長が、「建設業協会の皆様方には、災害時のみならず日常の除雪対応等地域の道路交通確保にご尽力いただいていることに改めて感謝と敬意を表したい。令和4年度第2次補正予算では、当整備局に1,300億円が配分されたが、令和5年度予算でも必要額をしっかりと確保し、希望が持てる予算の確保とインフラ整備・管理の迅速・適切な執行に努めたい。また、令和5年度は週休2日制や長時間労働の縮減に取り組むとともに、建設分野のDXへの取り組みについても躍進の年になるよう皆様方と協力しながら推進していきたい。」と挨拶。続いて平櫻会長が、「昨年末には大きな補正予算を組んでいただき、また、公共工事設計労務単価も11年連続で引き上げられ3月から適用される。これらに感謝申し上げるとともに、国土強靱化推進のための予算の継続確保をお願いする。1年後に迫った時間外労働の上限規制の適用については、市町、民間には未だ十分に浸透していないので、発注者協議会を通じた普及・指導と経済団体等に対する一層の働きかけをお願いしたい。」と挨拶した。

意見交換では、山岸専務理事が、公共事業予算の持続的・安定的な確保、地元建設業者の受注機会の確保など議題5項目について趣旨説明・要望を行った。このうち、働き方改革と生産性向上では、建設キャリアアップシステムの利用拡大に向け施工現場でのメリットと課題等を明確にするため、直轄Cランク工事を対象とした現場見学会の開催や試行モデル工事の適用範囲拡大を要望。適正な入札・契約制度に関しては、余裕期間制度（特にフレックス方式）の継続と対象工事の拡大を要望した。整備局からは、建設キャリアアップシステムの試行モデル工事については石川県内で2件実施しており、そこでのメリットと課題を抽出し、共有するための説明会を5月頃に開催する。余裕期間制度（特にフレックス方式）については、地域の実情も考慮しながら実態を踏まえて適切に実行していくなど、各項目について丁寧な回答をいただいた。



内藤正彦局長



平櫻 保会長



会場

#### 〈議題〉

1. 公共事業予算の持続的・安定的な確保
2. 地元建設業者の受注機会の確保
3. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
4. 働き方改革と生産性向上
5. 持続可能な除雪体制の確保



## 最近の完成工事から

### のと里山海道 柳田IC～上棚矢駄IC間 4車線化事業 「羽咋市柳田町地内1.7km完成」

石川県土木部道路建設課

#### 1 はじめに

のと里山海道は、能登地域と金沢を結び、広域交流の促進を図る社会基盤であり、能登地域の大動脈として産業・経済の発展に資するとともに、地域の生活道路としても大変重要な役割を担っています。

平成25年3月の全線無料化や柳田IC以南の4車線化、北陸新幹線の金沢開業により、交通量が約2倍に増加し、能登地域への新たな企業進出が見られた一方、柳田IC以北の2車線区間では速度低下や渋滞が発生しています。こうしたことから、走行性や安全性の向上、交通混雑の解消を図るため、平成27年度より柳田ICから上棚矢駄IC間9.6kmの4車線化事業を進めています。

整備にあたっては、事業効果を早期に発現させるため、上棚地内の既存のゆずりレーンを金沢側に延伸させる工事を優先的に進めており、令和2年4月には1.9kmを、令和3年12月には1.0kmを供用させています。そして、今回、令和4年12月に新たに1.7kmを完成させ、これまでに6.1kmの区間が4車線で供用しています。

#### 2 事業概要

路線名：のと里山海道(主要地方道 金沢田鶴浜線)

事業箇所：羽咋市柳田町～羽咋郡志賀町上棚 地内

事業期間：平成27年度～

延長：L=9.6km（うち6.1kmが4車線供用済）

道路規格：第1種第3級

幅員：W=14.0(20.5)m



図-1 事業箇所図



写真-1 柳田IC付近の渋滞状況

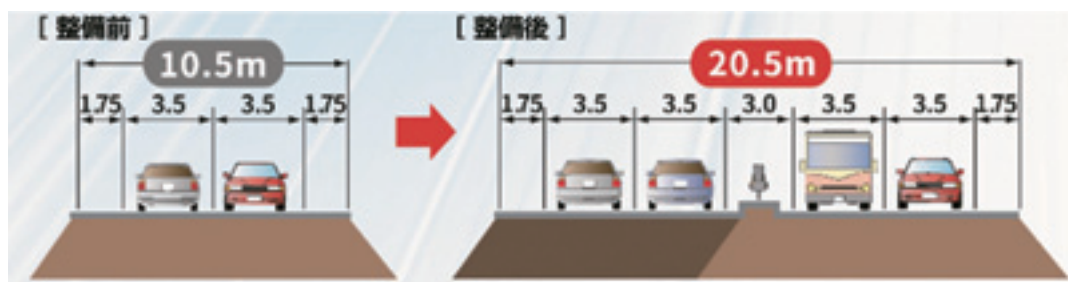


図-2 標準断面図

### 3 事業の効果

#### ①能登・金沢の時間距離の短縮

柳田ICから上棚矢駄ICの9.6kmが4車線化すれば、のと里山海道88.4kmのうち、4車線区間が6割を超えることとなり、走行速度が速まり、能登地域と金沢間の移動時間の短縮が図られます。

#### ②能登地域の活性化

4車線区間の拡大により、能登地域における通勤圏域の拡大や物流の効率化が図られ、移住・定住の促進や企業立地など更なる能登地域の活性化が期待されます。

#### ③安全・安心な交通環境の確保

4車線化に伴い対面通行が解消され、安全性が向上するとともに、大規模災害時には、道路が被災しても交通を確保しながら復旧工事を行えるため、緊急車両の通行や物資輸送が可能となり、安全・安心な交通環境が確保されることとなります。

### 4 事業の特徴

本県では、建設現場における働き方改革の推進と生産性の向上を目指して、ICT技術の活用を推進しています。本県が実施するICT工事では、のと里山海道4車線化事業での採用件数が最も多く、土工、舗装工、地盤改良工など様々な工程でICT技術を活用した工事に取り組んでいます。

また、ICT技術を身近に触れる機会を提供するため、建設業者を対象としたICT施工に関する現場研修会を開催しています。



写真-2 ICT施工現場研修会の様子

### 5 おわりに

令和4年12月3日(土)には、石川県及びのと里山海道整備促進期成同盟会の主催により、完成式が開催されました。式典は羽咋市役所体育館にて執り行われ、知事や七尾市長をはじめとした沿線首長、工事に携わった関係者の方々に出席いただきました。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げますとともに、今後とも、柳田IC～上棚矢駄IC間の一日も早い4車線供用に向けて、全力で取り組んでまいります。



写真-3 今回完成した4車線区間の状況  
(羽咋市柳田町地内)



写真-4 4車線化整備状況  
(羽咋市寺家町地内)



## 令和4年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.5

施工企業名：北都・宮下・勝二特定建設工事共同企業体

■工 事 名 一般国道415号 国道改築6類工事  
((仮)羽咋トンネル1工区)

■工 事 分 野 トンネル工事

■施 工 場 所 羽咋市中川町～宇土野町 地内

## ■工 事 概 要

施工延長 L=339.0m (No.18+14.0～No.35+13.0)

W=6.0 (7.5) m

トンネル工 (NATM) L=339.0 m

■工 期 令和元年12月24日～令和3年7月30日

## ■推 薦 理 由

本トンネルは、強風化の脆弱な地層部の施工となることから、事前に想定される課題と対応を織り込んだ施工計画を策定したほか、施工中は切羽面の挙動をリアルタイムで観測するなど、安全第一で工事を進め、無事に掘削を完了した。

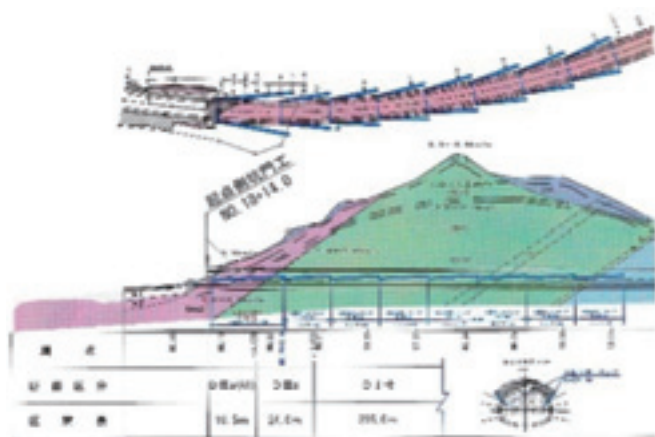
また、コンクリートの品質確保のため、冬季の風の影響を抑制するための養生の工夫や、締固めの難しい覆工コンクリートの天端部での締固めの工夫を行うなど、随所に創意工夫を施し、良好な出来栄で工事を完成させた。



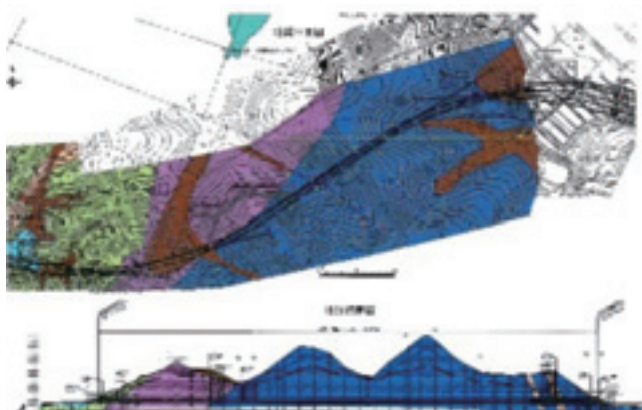
着手前



完成



水抜きボーリング図



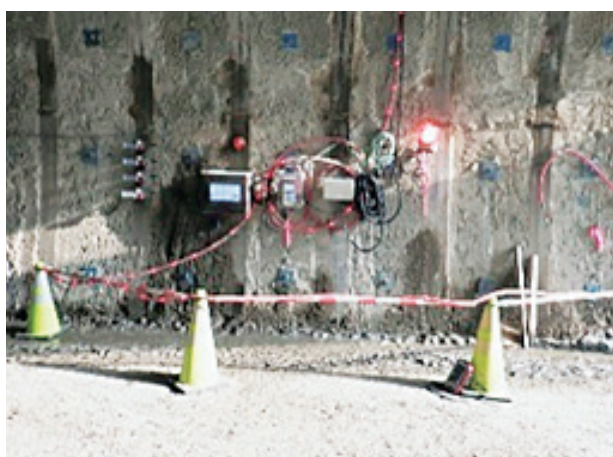
地形・地質概要図



水抜き工施工



湧水量観測



切羽面観測



切羽面観測照射

## ■現場代理人のコメント



現場代理人  
岩 佑亮氏

当工事は、一般国道415号羽咋バイパス改築工事のⅡ期区間内で全長661mのトンネル工事の中、海側からの延長339mの施工を行いました。

対象地山は、第四紀更新世の大桑層、新第三紀中新世後期の聖川泥岩層で切羽の自立性が低いことに加え、トンネル天端付近で高い水頭の被圧水が確認され、突発湧水による地山崩落や流砂の危険が想定される為、「地山の状況把握と湧水対策」を重点管理項目として施工を実施しました。

掘削に先行し、削岩機による探り削孔を行い、岩盤に伝わる破碎エネルギーの解析データと削孔時の目視観察データにより切羽前方地質の予測を行い、掘削時の参考としました。

また、切羽の変状発生時に早期掌握できるようレーザー測定器によるリアルタイム監視を実施し、異常時に坑内にパトライトによる危険周知等、安全対策にも留意しました。

湧水対策は、前方探査で行った探り削孔は水抜きボーリングも兼ねており、被圧水の導水・減圧を実施しました。また掘削進行方法が下り面で湧水が坑内に湛水しやすい為、切羽面の湧水は両サイドに水中ポンプを中継して、坑外に常時排水し、湛水発生を防止しました。その他坑内湛水防止に留意し、天端からの湧水は専用シートで側面のトレンチに導水する等、坑内の排水機能に留意した事で、高被圧湧水の影響を最小限におさえる事ができ、予測されたトラブルを回避できたのではないかと思います。

最後に、表彰受賞にあたり「羽咋トンネル技術検討委員会」の皆様方には多くのご指導をいただき大変感謝しております。本当にありがとうございました。



## 令和4年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.6

施工企業名：株式会社丸西組

■工 事 名 令和3年度 県営ほ場整備事業（耕作放棄地防止型）那谷地区 区画整理工事

■施 工 場 所 小松市那谷町地内

■工 事 概 要

区画整理工 A=3.3ha

■工 期 令和3年6月24日～令和4年3月18日

■推 薦 理 由

石礫が多い農地での区画整理工事

本工事は、二級那谷川右岸に位置する中山間地域の区画整理工事であり、数年耕作がされていない農地も含まれ、現況田は畦畔や農道、基盤土に石礫が多い区域であった。さらに隣接地山からの湧水が多かったため、基盤造成時の施工に対策が求められた。石礫が多い土は分別し石礫の除去を行い、石礫の表土への混入を防いだ。また、湧水が確認された箇所に排水ドレーンをこまめに設置することで、不陸のない基盤が完成し、品質、出来映えとも良好であった。



着手前



完成



計画平面図





石礫部 基盤整地状況



湧水箇所写真

## ■技術管理者のコメント



技術管理者  
瀬戸拓夢氏

この度は、知事表彰にお選びいただき、誠にありがとうございます。

当現場では、現況基盤・畦畔及び農道に石礫が多く、基盤からの湧水もあり施工が困難な現場でした。

会社の社訓である（「誠実に事にあたる」すべての仕事に真心を込め、より良い品質を提供し、社会の進歩に貢献する）を目標とし、湧水箇所に排水ドレーンを設置し、不陸の無い基盤が完成し、品質・出来映えを良好に施工できたことを誇りに思っております。

本工事が無事故・無災害で完成できたことに、ご協力頂いた関係者の皆様には深く感謝いたしております。

今回の表彰していただいたことを、心の糧とし初心を忘れずに日々精進していきたいと思っております。

## 雇用改善コーナー

### 工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する 協会長表彰の実施

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で、生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に就職が内定している生徒を表彰している。本年度は下記4名を表彰した。

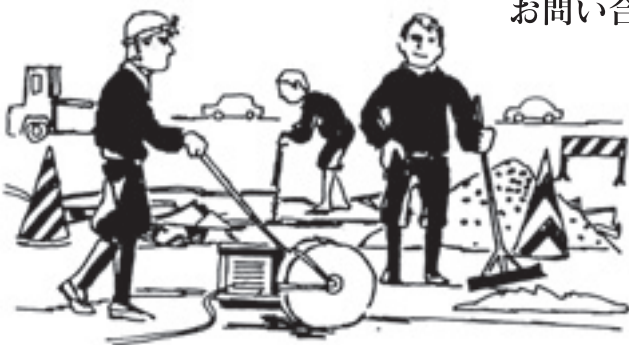


| 学校名   | 羽咋工業高等学校<br>建設・デザイン科<br>建築コース | 羽咋工業高等学校<br>建設・デザイン科<br>土木コース | 翠星高等学校<br>総合グリーン科学科 | 小松工業高等学校<br>建設科 |
|-------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------|-----------------|
| 氏 名   | 茶畑 連                          | 表谷 一冴                         | 塚田 結枝               | 高田 明翔           |
| 内定先企業 | (株) トーケン                      | 丸建道路(株)                       | 吉田道路(株)             | (株) トーケン        |

## 不慮の災害事故発生にそなえて

### 全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



#### 石川県総合建設業協同組合

損害保険 ジャパン 株式会社  
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20  
中屋三井ビル2F



## 地区協会コーナー

### ～多様化する社会ニーズに合わせた宗教などにとらわれない 新しい「納骨堂」、「合葬墓」を小松市が市街地に整備～

(一社)小松能美建設業協会

#### ～思い出の中で心を重ねる安らぎの場所～

全国的にも近年、ライフスタイルの変化や少子高齢化などにより適切に管理されないお墓が増加しているなか、個人での管理負担の少ない新しい形態の墓地を望む多くの声を受けて、令和4年7月に小松市営の「納骨堂」、「合葬墓」が小松市向本折町に竣工しました。

#### ◆納骨堂



【市が管理する新しいタイプのお墓です。お墓の維持・管理や承継の必要がなく安心してご利用いただけます】

・遺骨は骨壺でお預かりし、納骨棚に収蔵致します。収蔵期間は10年（使用料：1体15万円）または20年（使用料：1体23万円）とし、収蔵期間経過後は、遺骨を納骨袋に入れ替えて、合葬墓へお移しします。参拝室は年末年始を除く土・日、祝日およびお盆にご利用できます。（平日の場合は予約が必要となります。）

「納骨堂」 施工者：加越建設(株) 工事費 133,700千円

施設の概要 収蔵数：3,000体

所在地：小松市向本折町293番地3

構 造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造

延べ床面積146㎡



#### 「納骨堂参拝室」

地元産材の石、木材を使用しています。参拝室にて、献花することができます。参拝室では、ろうそく・線香等の火気は使用できません。



#### 「納骨棚のある収蔵室」

遺骨1体につき骨壺1個を1つの棚に納骨します。（収蔵室には入室できません）可動式ロッカーで遺骨をお預かりします。

#### ◆合葬墓



施工者：(株)駒沢建工 工事費 63,877千円

一つのお墓に合同で遺骨を収蔵します。将来的なお墓の維持・管理が不要となります。

市で用意する納骨袋に入れた状態で遺骨をお預かりし、永年にわたって収蔵室に収蔵します。

合祀するため遺骨は返還できません。収蔵期間は永年となります。使用料：1体永年7万円

#### 施設の概要

収蔵計画数：15,000体

所 在 地：小松市向本折町坤1番地5

敷 地 面 積：902㎡

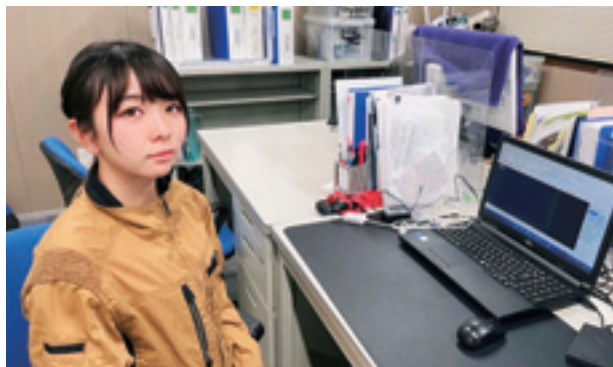
その他、トイレ・休憩所があります。



合葬墓参拝台、屋外モニュメント

# 今月の「輝き！」さん

No. 96



## 株式会社明翫組 平床悠里さん

所 属：土木部主任  
経験年数：4年  
年 齢：22歳

金沢市湊2丁目の工事現場事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

一河川敷に建設機械が見えますがどのような現場ですか？  
石川県発注の金沢港改修東港橋補修工事の現場です。橋の耐震化などの工事を行っています。私は、昨年の12月から作業所長の下で施工管理を担当しています。

一あなたの会社について教えてください。

株式会社明翫組は、大正6年創業の総合建設業の会社です。道路工事や河川護岸工事、港湾工事、橋梁工事等土木工事全般から、公共施設、一般住宅、店舗や社屋等の商業施設の建築まで幅広く対応しています。社員数は34人で私は土木部に所属しています。

一建設業を選んだ理由、入社の動機等について教えてください。

子供の頃、建設業で働く父の運転で街に出かけることがありましたが、そのたびに「この道路や橋は自分が造った」と自慢げに話す父を見て、少し誇らしく思いました。そんな環境で育ったので、自然と建設業に興味を持ち工業高校の土木科に進学しました。卒業後は県内企業で働く決めておりいろいろ悩みました

が、先生のアドバイスもいただきOBも働いている今の会社に入社しました。

一入社後4年になりますが心に残る現場などはありますか？

入社後初めて現場代理人を務めた国道304号の改築工事現場です。作業の段取りが悪く内容も上手に伝わらなかったことがあり、周囲の方には、一人で現場を持ったつもりで考えながら仕事をしなさいと言われてパニックになったこともありましたが、同時に自分に足りないところにも気づくことができました。これからは、上司や先輩を見習い、一日も早く成長した自分を見せることができるよう頑張ります。

一仕事で苦勞したこと、やりがいを感じる時は？

苦勞というより、男性との体力の違いを痛感しています。特に私は小柄な方なので丁張や測量で悔しい思いをすることもあります。これから経験を積んでカバーできればと思っています。土木の仕事は、道路や橋など社会生活の基盤となるインフラ整備を通じて地域の安全・安心の確保に携わり、また、将来にわたって地図に残る仕事なので誇りとやりがいを感じます。

一休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

今年の1月に結婚したばかりでまだ何となく落ち着かない毎日ですが、休日には、二人で買い物に出かけたり部屋の片づけをしたりしています。

一将来の夢、目標は？

今年、2級土木施工管理技士の資格が取得できたので、1級土木施工管理技士の資格取得が当面の目標です。将来的には建設業経理検定試験にも挑戦したいと思っています。上司や先輩のように話しやすい明るい雰囲気の現場作りに努め、誰からも信頼される現場監督になりたいと思います。

今、会社の土木部門では唯一の女性技術者なので、しっかり勉強して後輩の良き手本になりたいと思っています。



## けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。



## 協会だより

### 常任理事会の開催

開催日時 令和5年2月6日(月) 12:00～14:00  
開催場所 石川県建設総合センター  
出席者 正副会長、常任理事、建設青年委員長、専務理事、各地区協会専務理事(事務局長)、協会事務局

#### 概 要

平櫻 保会長の挨拶に続き、今後の主な日程及び各地区協会の今後の取り組みについて報告の後、山岸 勇専務理事が、スライド条項など契約変更を含めた適切対応、国の令和5年度予算案(公共事業関係費)、見直しに向けた総合評価方式の効果検証など、建設業をめぐる最近の話題について説明した。



#### 〈議題〉

1. 今後の主な日程について
2. 会員受注高調べについて
3. 各地区協会の取り組みについて
4. 建設業をめぐる最近の話題について
5. その他

石川県建設工事競争入札参加資格に係る主観的事項審査事務取扱要綱の一部改正及び令和5年度入札参加資格の格付けに係る主観的事項審査資料の提出について

### 建設産業女性定着支援ネットワーク全国大会への参加

開催日時 令和5年2月28日(火) 10:00～12:00  
開催場所 オンライン開催  
参加者 国土交通省、ネットワーク加入団体、建設業振興基金他 約70名

#### 概 要

「建設産業女性定着支援ネットワーク」は、建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的に2018年度に設立された。(事務局：(一財)建設業振興基金)百万石小町「結」は、令和3年度より加入している。

全国大会には、当協会から女性部会正副会長、事務局がオンラインにより参加した。

長橋和久国土交通省不動産・建設経済局長の挨拶に続き、建設産業女性定着支援ネットワークに登録した団体の取り組みの紹介やシンボルマークの選考結果の発表が行われた。その後、各団体から今後取り組みてみたいことやネットワークへの要望等について活発な意見交換が行われた。



リモートで参加する森高靖子部会長

#### 〈議題〉

1. 建設産業女性定着支援ネットワークの取り組み状況
  - (1) 登録団体の取り組み紹介
    - ・(一社)土木技術者女性の会、(一社)茨城県建設業協会 建女ひばり会
    - ・建設ディレクターネットワーク
2. シンボルマークの選考結果の発表
3. グループ意見交換会

## 委 員 会 の 開 催

### 土木委員会

#### ◎役員会の開催

開催日時 令和5年2月27日(月) 12:00～14:00  
開催場所 KKR ホテル金沢  
出席者 正副委員長2名、副部長4名、懇話会座長1名  
懇話会副座長1名、事務局1名

##### 概 要

3月16日(木)に開催する「金沢河川国道事務所との意見交換会」の提案議題と、3月9日(木)～11日(土)に開催する現場視察・研修会等の内容等について審議を行った。

##### 〈議題〉

1. 金沢河川国道事務所との意見交換会について
2. 現場視察・研修会について
3. その他



会議状況

### 建築委員会

#### ◎技術・安全部会（第3回）の開催

開催日時 令和5年2月9日(木) 10:30～12:00  
開催場所 石川県建設総合センター  
出席者 技術・安全部会員8名、事務局1名

##### 概 要

坂東久雄部会長の挨拶の後、県内公共工事（建築）に対するアンケート調査及び令和5年度の事業計画について意見交換を行った。

##### 〈議題〉

1. アンケート調査の実施について
2. 令和5年度事業計画について



#### ◎情報・創造部会の開催

開催日時 令和5年2月10日(金) 10:30～12:00  
開催場所 石川県建設総合センター 4階 403会議室  
出席者 部会長以下9名、事務局1名

##### 概 要

橋本和宏部会長の挨拶の後、本年度事業の推進状況を確認するとともに、担い手育成と生産性向上に向けた取り組みについて意見交換を行った。

今後、幼稚園児、小学校、中学校の生徒にも建設業の魅力等を伝えることが重要であり、引き続き具体的事業について検討することとした。

##### 〈議題〉

1. 令和4年度の情報・創造部会の事業について
  - ・担い手育成等について
  - ・生産性向上への取り組みについて
  - ・キャリアアップシステムへの取り組みについて
2. その他





## ◎令和4年度石川県公共建築事務連絡協議会の開催

開催日時 令和5年2月13日(月) 13:00～14:30  
開催場所 石川県建設総合センター  
出席者 石川県土木部幹部職員4名  
(一社)石川県建築士事務所協会役員6名  
(一社)石川県設計監理協会2名  
建築委員長以下9名

### 概 要

真柄卓司委員長の挨拶で開会。熊田康也県土木部次長、小林正澄県建築士事務所協会会長、中村賢一県設計監理協会会長が挨拶した後、県から建築・住宅行政、営繕工事等の説明があり、続いて各団体からの提言と意見交換を行った。



### 〈議題〉

1. 石川県における建築・住宅行政、営繕工事等について
2. 各団体からの提言事項について

## 土地改良委員会

## ◎県農林水産部との意見交換会の開催（技術検討部会）

開催日時 令和5年2月17日(金) 10:00～12:00  
開催場所 金沢ニューグランドホテル  
出席者 橋本尚之農林水産部技術管理室長以下4名  
上野 晋技術検討部会長以下22名、事務局1名

### 概 要

上野部会長、橋本技術管理室長の挨拶に続き、農林水産部から、農業農村整備事業 令和5年度予算の概要及び工事検査のポイントについて情報提供があった。その後部会から、区画整理、暗渠排水工事等について要望を行うとともに意見交換を行った。



## 広報・研修委員会

## ◎企画部会の開催

開催日時 令和5年2月22日(水) 10:30～11:30  
開催場所 石川県建設総合センター  
出席者 委員長、委員8名、事務局3名

### 概 要

高田直人委員長の挨拶に続き、下記事項について審議・報告が行われた。



### 〈議題〉

1. 協会報3月号について
2. 研修所からのお知らせ  
建設業税財務講習会の開催について
3. その他
  - ・「私たちの主張作文」の募集について
  - ・労働時間の罰則付き上限規制適用について

## 建設青年委員会

### ◎県土木部との意見交換会の開催

開催日時 令和5年2月10日(金) 16:00～17:45  
 開催場所 金沢東急ホテル  
 出席者 石川県土木部5名、建設青年委員会27名、事務局1名

#### 概 要

明畹圭祐委員長の開会挨拶に続き、口田光也石川県技監より「石川県土木部における最近の動向について」の演題で講演をいただいた後、意見交換を行った。



## 女性部会

### ◎愛知県建設業協会との意見交換会

開催日時 令和5年2月9日(木) 15:30～17:00  
 開催場所 石川県建設総合センター  
 出席者 愛知県建設業協会女性部会・事務局5名  
 百万石小町「結」正副会長・事務局4名

#### 概 要

令和4年7月に愛知県建設業協会にて発足した「働き方改革専門委員会」(女性部会)と意見交換会を行った。当日は、百万石小町「結」の運営方法やこれまでの取り組みについて説明した後、部会運営方針や活動内容のほか、建設ディレクター制度の周知や活用について意見交換が行われた。



## 担い手確保・育成等特別委員会

### ◎令和4年度富士教育訓練センター派遣事業の実施について

実施日時 令和5年2月11日(土)～18日(土)  
 実施場所 静岡県富士宮市 富士教育訓練センター  
 参加者 入職内定高校生24名、事務局2名

#### 概 要

コロナ禍により、2年ぶり(12回目)の開催となった今年度の事業には、会員企業に就職が内定している高校生等24名が参加した。7泊8日の研修中、就職前準備研修が2日間、技能講習が6日間行われた。研修では、社会人としての基本姿勢と考え方等について学ぶとともに、小型移動式クレーン運転や玉掛け技能の講習が行われ全員が資格を取得した。



研修(自己紹介)



研修(講義)



玉掛け(講義)



玉掛け(実技)



## 石川県土木施工管理技士会だより

### 正副会長会議の開催

開催日時 令和5年2月3日(金) 11:00～13:00

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 正副会長4名、事務局2名

#### 概 要

鶴山庄市会長の挨拶に続き、下記事項について審議した。



#### 〈議題〉

#### 1. 北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会について

- ・開催内容（次第、出席者、懇談会）について
- ・提案議題について
- ・次回正副会長会議日程について

#### 2. その他

### JCM セミナー（DVD 講習会）の開催

開催日時 令和5年2月22日(水) 七尾会場、28日(火) 小松会場

開催場所 (一社)七尾鹿島建設業協会、(一社)小松能美建設業協会

出席者 七尾会場8名、小松会場13名

#### 概 要

講習会は、DVDによる講義の形式で行われ、仮設構造物（土留め工）の設計、維持管理基礎講座河川編を受講した。受講者には、CPDS6ユニットが付与された。



七尾会場



小松会場

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

## 令和4年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

### 「建設産業から広がる世界」

株式会社高田組 越野百々香

「きつい」「危険」「汚い」これは社会が思う建設産業のイメージだと思います。建設産業の3Kと呼ばれているものです。私自身怖い人が多いというイメージを持っていました。しかし、これは昔の話で今はそんなことはありません。実際、私の会社では優しい人がたくさんいます。現場では新技術が導入され、働きやすい職場に変化しつつあります。そんな建設産業のいいところを伝えたいと思います。

まず、私の働いている会社について話したいと思います。私の会社は、普通の会社と違い少し変わっています。何が変わっているかというと建設産業三社と観光産業二社の五社で形成されたグループ企業というところですね。観光産業の二社はホテルと旅行業を営んでいます。この内のホテルは、グループ会社間で協力し建設したホテルです。現在開業から七年が経過し、いろいろなリニューアルを行いました。全てグループ会社が工事を行いました。全く関係のない二つの業種が同じグループ会社として共存できているこの会社に私は魅力を感じています。社内行事では一つの会社ごとではなく五社の社員みんなで行います。異業種である社員の方々がコミュニケーションを取り合っています。業種は違いますが、みんなが頑張っているから私も頑張ろう、と明日への活力に繋がります。誰が建設産業と観光産業が同じグループ企業として一緒に成長していくことを想像できたでしょうか。これは、建設業が広げた未来だと思います。

私が建設産業に携わるようになり気づいた一番の魅力は、自分たちの作った建物を後世に残すことができることだと思います。少し昔の話になりますが、私の生まれた年に現在の三代目石川県庁舎が金沢市鞍月にて建てられました。県庁舎の建設は複数の異なる企業が共同で工事を行うJVの工事でした。建築と土木の分野で高田組、舗装の分野で金沢舗道。グループ会社のうち二社が県庁舎の建設に携わることができました。当時、建築の分野で現場に行っていた社員の方に話を聞くと、多くの企業をまとめて自分たちの工事をするのは

とても大変だったそうです。その上、多くの業者が一同に工事を行うため、自分たちの作業がうまく進まないということもあったそうです。そんな時、複数の企業の方と、コミュニケーションをとりながら作業を円滑に進めていったそうです。大変なことはとてもありましたが、多くの人と関わり立派な建物を建てることができ、とてもいい経験だったそうです。建設から20年以上たった今も石川県のシンボルとなり県民を見守ってくれています。

また、JVの工事といえば、北陸新幹線敦賀間開通に向けた工事にも私の会社の社員の方が参加していました。2015年3月14日。金沢ー東京間を繋ぐ新幹線が開通しました。そして今、2023年度末敦賀間開通に向けた新たな工事が行われています。金沢に新幹線が開通した時、日本人はもちろん外国人の方もたくさん金沢を訪れました。金沢の街並みを初め、たくさんのいいところを多くの方に知っていただく機会を作ることが出来たと思います。将来的には、新大阪までつながる予定です。交通の便がとて良くなり、短時間で行き来できるようになる未来に私はとてもワクワクしています。

いま、金沢の街を見渡せばいろいろなところで工事が行われています。この工事が終われば、人々の生活が豊かになり、新しい街が完成します。新しい街づくりに携われることは、とてもうれしいことだと思います。また、一つの建物を施工するためにはたくさんの業者さんの手が必要です。みんなで協力し建てた建物が完成した時には大きなやりがいを感じることができると思います。

建設産業は人付き合いがとても多い産業です。たくさんの工事を通してたくさんの人と関わり自分自身を成長させることが出来ると思います。そして、新しい街づくりや人と人を繋ぐ仕事を担っています。たくさんの業種がある中で、建設産業の仕事をする事が出来て私はとても良かったと思います。これからも、社会を作り、世界を広げる一員として頑張っていきます。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

## 令和4年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

### 「人と人が繋がる建設産業」

株式会社高田組 俵 来美

私が建設産業に携わる仕事を始めて二年が経過しました。入社した頃は建設産業とはどんな仕事をしているのか詳しくは知りませんでした。イメージとしてはとても大変で、きつそうな仕事を想像していました。しかし、建設産業に携わる仕事を行い、様々な方から建設産業について話を聞いたりしていく上で様々なことを学びました。入社してから考えを広げてくれた建設産業についての魅力と誇りを話したいと思います。

建設産業とは建築・土木など建設工事の完成を請負う営業の総称だそうです。建設工事とは建物を建設する工事や道路などの整備を行う土木一式工事のことですが、入社する前の私は建設工事とはどのような過程で行われどんな思いでつくられているのかを全く知りませんでした。ただ完成された建物や道路を何も思わず見ているだけでした。しかし、建設工事は複雑な工程で様々な人たちの協力を経て完成しているのだと仕事を通じて学びました。特に、様々な人たちの協力は建設工事にとってとても重要なことだと私は思いました。なぜなら元請企業や下請企業など様々な人たちの協力なしでは建設工事の完成はできないからです。もし一人で完成することを目指しても時間と費用がかかり途中で嫌になってくると思います。互いの業務を支え協力し合えば、一つの目標に向かう強い絆が生まれ協力して物事を成し遂げる喜びや達成感があります。私の仕事は建設産業の事務なのですが、現場に出ていなくても建設工事に協力している一人だと思い仕事をし、建設工事が完成したら喜びや達成感を感じます。

さらに、建設工事に協力している一人だという思いは仕事に対して責任感をつけてくれました。なので建設産業は協力し合うチームワーク企業であり喜びや達成感を感じさせてくれる魅力があります。

さてここで話が変わりますが、今から私の母から聞いた話をしたいと思います。私が入社する頃に母から聞いた話なのですが、母の父、つまり私の祖父は昔、建設業に携わる仕事をしていたそうです。ある地区のごみ処理場の土台部分をつくっ

たそうで、母が子供の頃ごみ処理場の前を祖父と通ったら祖父は、「ここはわしがつくったんや。」と母に自慢していました。子供の頃の母は「そうなんだ。」としか思っていなかったのですが、大人になり祖父が亡くなってからこの建物を見ると、祖父が一生懸命に仕事をしている姿を思い出し涙するそうです。母は「建物が残っているいいなと思った。父は亡くなったが建物が残っているから父の姿を思い出せる。どの建物にもいろんな思い出が残っているし、いろんな人の思いがあると思った。でも父が亡くなってしばらくはこの建物を見るのが辛かった。でも時が流れて子供が生まれて父がつくった建物を子供たちに、これはじいちゃんがつくった建物だよと言えたことがうれしかった。」と話していました。この話を聞いて世代を超えて語り継がれる建設産業はとても良いと思いました。さらに母が話していた「建物が残っているいいなと思った」「どの建物にもいろんな思い出が残っているし、いろんな人の思いがあると思う」という言葉を聞いて建設産業は地図や歴史、人の記憶や思い出を残せる誇らしさがある仕事だと思いました。私の父も建築の仕事に携わっており、私も父が建てた建物を将来の自分の子供に語り継ぎたいと思います。人々が一生懸命建てた建物を未来の人たちに知ってもらえるのはとてもうれしいことだと思いました。

私は自分自身の建設産業の仕事での経験や母から聞いた話を通じて、建設産業はなくてはならない仕事だと思いました。建設産業は人々と社会に貢献できるとてもやりがいのある仕事で将来的にも期待が持てる仕事です。しかし現在、建設産業は高齢化が進んでいます。私の父も建設産業は高齢化が進んでいて困っていると言っていました。なので、私が話していた建設産業に対する魅力や誇り、さらに建設産業はとてもやりがいのある仕事で暮らしのすべてに役立つとてもすごい仕事ということを私たち若い世代が次の若い世代に伝えていきたいと思っています。たくさんの魅力や誇りがある建設産業で仕事ができ私はとてもうれしいです。

## 業 界 時 報

労働災害発生状況  
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和4年分）

令和5年1月末 速報

| 業種別<br>署別 | 土木工事 | 建築工事      | 設備工事 | 計          | 前年同期       | 全産業     |
|-----------|------|-----------|------|------------|------------|---------|
| 金沢監督署     | ① 12 | ① (21) 49 | 3    | ② (21) 64  | (18) 82    | ⑥ 1,313 |
| 小松監督署     | 11   | (5) 10    | 4    | (5) 25     | ① (7) 23   | 493     |
| 七尾監督署     | 7    | (7) 11    | 6    | (7) 24     | ① (6) 17   | 201     |
| 穴水監督署     | 6    | (6) 11    | 3    | (6) 20     | ① (3) 17   | ② 203   |
| 計         | ① 36 | ① (39) 81 | 16   | ② (39) 133 | ③ (34) 139 | ⑧ 2,210 |
| 前年同期      | ① 39 | ① (34) 79 | ① 21 | ③ (34) 139 |            | ⑥ 1,311 |

( ) 内は木建工事 ○内は死亡者数

対前年同期比の増減 建設業：139件→133件【6件（4.3%）減少】 全産業：1,311件→2,210件【899件（68.6%）増加】  
コロナウイルス感染症による死傷災害（1月末現在前年同期比）：建設業：4件→15件【9件増】、全産業：152件→1,031件【879件増】

## 令和4年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

|       | 土 木   |       |         | 建 築    |        |        | 計      |        |        |
|-------|-------|-------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|       | 令和4年度 | 令和3年度 | %       | 令和4年度  | 令和3年度  | %      | 令和4年度  | 令和3年度  | %      |
| 11月分  | 132   | 200   | 66.0%   | 1,182  | 1,387  | 85.2%  | 1,314  | 1,587  | 82.8%  |
| 12月分  | 910   | 43    | 2116.3% | 1,178  | 3,093  | 38.1%  | 2,088  | 3,136  | 66.6%  |
| 1月分   | 159   | 85    | 187.1%  | 2,404  | 1,337  | 179.8% | 2,563  | 1,422  | 180.2% |
| 年度累計  | 2,886 | 1,784 | 161.8%  | 24,545 | 21,982 | 111.7% | 27,431 | 23,766 | 115.4% |
| 2年度累計 |       | 1,575 | 183.2%  |        | 14,061 | 174.6% |        | 15,636 | 175.4% |
| 元年度累計 |       | 2,493 | 115.8%  |        | 22,032 | 111.4% |        | 24,525 | 111.8% |

官 公 庁

|       | 土 木    |        |        | 建 築   |        |        | 計      |        |        |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
|       | 令和4年度  | 令和3年度  | %      | 令和4年度 | 令和3年度  | %      | 令和4年度  | 令和3年度  | %      |
| 11月分  | 6,351  | 4,153  | 152.9% | 511   | 150    | 340.7% | 6,862  | 4,303  | 159.5% |
| 12月分  | 3,243  | 2,301  | 140.9% | 985   | 556    | 177.2% | 4,228  | 2,857  | 148.0% |
| 1月分   | 2,383  | 1,931  | 123.4% | 229   | 598    | 38.3%  | 2,612  | 2,529  | 103.3% |
| 年度累計  | 41,831 | 36,803 | 113.7% | 6,885 | 12,232 | 56.3%  | 48,716 | 49,035 | 99.3%  |
| 2年度累計 |        | 38,723 | 108.0% |       | 22,338 | 30.8%  |        | 61,061 | 79.8%  |
| 元年度累計 |        | 39,255 | 106.6% |       | 14,225 | 48.4%  |        | 53,480 | 91.1%  |

合 計（民間＋官公庁）

|      | 令和4年度 | 令和3年度 | %      |
|------|-------|-------|--------|
| 11月分 | 8,176 | 5,890 | 138.8% |
| 12月分 | 6,316 | 5,993 | 105.4% |
| 1月分  | 5,175 | 3,951 | 131.0% |

|       | 令和4年度  | 令和3年度  | %      |
|-------|--------|--------|--------|
| 年度累計  | 76,147 | 72,801 | 104.6% |
| 2年度累計 |        | 76,697 | 99.3%  |
| 元年度累計 |        | 78,005 | 97.6%  |

## 会員の異動

今回届け出があったのは次の1件でした。

○変更

| 会社名     | 変更前代表者 | 変更後代表者 | 変更年月日    |
|---------|--------|--------|----------|
| (株)北陸工建 | 西田 勲   | 島崎 豊   | 令和5年1月1日 |

なお、変更があった時点で届け出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 令和5年3月行事予定

- 3月 1日(水) YouTube活用研修会(～2日)  
建設業協会・建産連共催特別セミナー  
(石川県地場産業振興センター)
- 2日(木) 正副会長会議
- 3日(金) 全建 総合企画委員会(東京 東京建設会館)
- 6日(月) 金沢港振興協会 第2回理事会  
(金沢ニューグランドホテル)
- CCUS活用モデル工事事例説明会  
(金沢河川国道事務所輪島国道出張所)
- 7日(火) 全国建産連 総務企画委員会  
(東京 建設業振興基金)
- 北陸三県技士会と北陸地方整備局との意見交換会  
(～8日) (新潟 アートホテル新潟駅前)
- 8日(水) 建築委員会 情報創造部会(第3回)  
石川県共同募金会 配分委員会  
(石川県社会福祉会館)
- 9日(木) 土木委員会 現場視察・研修会(～11日)  
(北九州(大分県、福岡県))
- 12日(日) 建設業経理検定試験
- 13日(月) 会報編集委員会  
建築委員会 役員会  
税財務講習会
- 14日(火) 全建 理事会・協議員会(東京 経団連会館)  
建退共運営委員会(東京 経団連会館)
- 15日(水) 建設業福祉共済団協会会長会(東京 経団連会館)  
建設業振興基金参与会(東京 経団連会館)
- 16日(木) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会  
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 北陸地区建設業協会 専務理事・事務局長会議  
(～17日) (新潟市)
- 17日(金) 広報・研修委員会 企画部会  
産業廃棄物講習会
- 22日(水) 北陸ICT戦略推進委員会  
(北陸地方整備局(WEB併用))
- 北陸青年会議 役員会並びに北陸地方整備局との意見交換会  
(新潟 新潟県建設会館)

- 23日(木) 全建 地域CCUS推進委員会(東京 建設会館)  
全建 専務理事・事務局長会議  
(東京 鉄鋼会館)
- 27日(月) 建築委員会 環境住宅部会研修会
- 30日(木) 女性部会 幹事会(金沢ニューグランドホテル)

### 令和5年4月以降の行事予定

- 4月 4日(火) 新入社員研修(～5日)
- 6日(木) 新入社員対象IT活用研修(～7日)  
正副会長会議  
常任理事会
- 11日(火) 新入社員対象IT活用研修(～12日)  
石川県土木施工管理技士会 正副会長会議
- 13日(木) 建設業技術者センター 講習会  
(金沢港クルーズターミナル)
- 20日(木) 全建 理事会(東京 東京建設会館)
- 27日(木) 正副会長会議
- 5月上旬 令和4年度監査
- 14日(日) 歩いてみようのと里山海道  
(のと里山海道千鳥台)
- 17日(水) 理事会 建災防・協会・組合
- 30日(火) 総会 建災防・協会・組合
- 10月 4日(水) けんせつフェア北陸2023in金沢(～5日)  
(石川県産業展示館4号館)
- 31日(火) 北陸地区建設業協会地域懇談会  
(ホテル日航金沢)

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- ②投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- ③協会報の発行 毎月1日発行  
(毎月10日前後納入、会員送付)
- ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、  
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
TEL 076-242-1161(代)内線40番



## 地区協会からのお知らせ

## (一社)金沢建設業協会

## 《行事予定》

- 3月 3日(金) 未来への扉デザイン特別委員会  
6日(月) 災害時体制正副班長会議  
災害対策委員会  
7日(火) 献血奉仕活動  
13日(月) 青年委員会：技術と魅力向上S  
14日(火) 常任理事会・理事会  
15日(水) 監理技術者講習会  
16日(木) 土木部会：役員会  
22日(水) 青年委員会：未来の担い手確保・育成S  
24日(金) 入札・契約制度等説明会

## 《お知らせ》

- 4月 5日(水) 奉仕委員会  
11日(火) まちなか協働パトロール出発式  
14日(金) 監理技術者講習会  
19日(水) 常任理事会・理事会  
20日(木) 土木部会：視察研修（～22日）

## (一社)加賀建設業協会

## 《行事予定》

- 3月 8日(水) 建災防加賀分会 第3回安全パトロール  
15日(水) 総務企画委員会  
22日(水) 役員会

## 《お知らせ》

- 4月13日(木) 協会・組合 会計監査  
19日(水) 役員会

## (一社)小松能美建設業協会

## 《行事予定》

- 3月 6日(月) 県建設会 幹事会  
執行部会  
7日(火) 理事会  
8日(水) 監理技術者講習会  
19日(日) こまつ水辺クリーンデー  
24日(金) 県建設会 定時総会

## 《お知らせ》

- 4月19日(水) 監査会  
25日(火) 理事会  
5月16日(火) 定時総会

## (一社)白山野々市建設業協会

## 《行事予定》

- 3月 2日(木) 献血活動  
10日(金) 翠星高校との意見交換会  
23日(木) 役員会

## 河北郡市土建協同組合

## 《行事予定》

- 3月中旬 役員会

## (一社)羽咋郡市建設業協会

## 《行事予定》

- 3月23日(木) 理事会  
下旬 県管理河川の堤防・護岸点検パトロール(土木部会)

## 《お知らせ》

- 4月20日(木) 監事会  
25日(火) 理事会  
5月下旬 定時総会

## (一社)七尾鹿島建設業協会

## 《行事予定》

- 3月 3日(金) 能登和倉万葉の里マラソン2023ボランティア活動

## 《お知らせ》

- 4月 5日(水) 監理技術者講習会

## (一社)鳳輪建設業協会

## 《行事予定》

- 3月24日(金) 監理技術者講習会

## 《お知らせ》

- 4月12日(水) 監事会（会計監査）  
26日(水) 理事会

## (一社)珠洲建設業協会

## 《行事予定》

- 3月10日(金) 工事現場安全パトロール  
24日(金) 理事会